

平成28年度大学院法学研究科博士課程後期課程一般入試 出題の意図

【外国語】

英語	問題	筆答試験では大学外に著作権がある外国語文献のみが使われますので、著作権法の規定により本サイトでは表示できません。ただし教務係にて閲覧することは可能です。
	出題の意図	<p>【第1問】 本問に出題の問題文は、経験科学のひとつとしての社会科学の方法を論ずる著作からの抜粋である。特に高度な専門知識を要求せず、基本的な語彙からなる社会科学に関する英文をその内容を精確に理解しつつ読解する能力を有するかを問うた。また同時に、法学と政治学とを問わず必要とされる社会科学という分野自体についての基礎的な理解を有しているか、を問うた。</p> <p>【第2問】 本英文は、ある法学者の書いた法学における類推について論じる論評の一部である。専門的な内容にかかる英文を適切に訳すことができるかを見ることで、法学政治学の論文を正確に読解する能力の有無を測るものである。</p>